

建工第 1 号

上親田線落石対策工事(3期)

当初数量計算書

東白川村

全体数量総括表

落石雪害防止工数量計算書

落石対策工集計表 1

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
落石防止網工				
ロックネット工				
ロープ・金網	φ3.2 メッキ4種	m2	1935	
アンカー打設	D22 L=1000	本	96	
	D25 L=1000	本	18	
ポケット支柱	H-100×100×6×8×2450	本	27	
	H-100×100×6×8×2950	本	3	
	H-100×100×6×8×3450	本	2	
	H-100×100×6×8×3950	本	14	
落石防護柵工				
ロープ・金網				
間隔保持材あり	H=3.0m	m	18	
支 柱				
中間支柱	H=3.0m	本	5	
端末支柱	H=3.0m	本	2	
コンクリート	18-8-40	m3	22	
型枠工	一般型枠・小型構造物	m2	47	
目地工	エラストイトt=30mm	m2	1	
掘削		m3	50	
埋戻し	土砂・小規模	m3	20	
土砂運搬	土砂 L=9.1km	m3	30	久須見残土処理場
整地		m3	30	
構造物撤去復旧工				
ブロック積撤去工	SL=1.0m	m3	7.4	
天端Co取壊し		m3	0.3	
ブロック積復旧工	SL=1.0m	m2	21	
天端Co復旧工		m3	0.3	
殻運搬	L=12.0km	m3	8.0	恵北物産
処分費	無筋	t	18.0	

落石対策工集計表 2

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
落石予防工				
ロープ伏工				
ロープ伏工(1)	φ 12mm	m2	36	
ロープ伏工(2)	φ 12mm	m2	64	
ロープ伏工(3)	φ 12mm	m2	4	
ロープ伏工(4)	φ 12mm	m2	4	
モノレール運搬		t	1.1	
ロープ掛工				
ロープ掛工	φ 12mm 2本掛け	箇所	1	
モノレール運搬		t	0.1	
仮設工				
モノレール架設工				
	モノレール架設・撤去	m	105	
交通管理工				
	交通誘導警備員B	人	9	

落石防護網工数量計算書

(1式当たり)

名 称	計 算 式		単 位	数 量
落石防護網工				
金網・ロープ (3.2φ メッキ4種)	1,320 + 615 =	1935	m2	1935
岩盤用アンカー (D22 L=1000)	29 + 29 + 2 + 17 + 17 + 2 =	96	本	96
岩盤用アンカー (D25L=1000)	10 + 8 =	18	本	18
ポケット式支柱 (H-100×100×6×8×2450)	19 + 8 =	27	本	27
ポケット式支柱 (H-100×100×6×8×2950)	1 + 2 =	3	本	3
ポケット式支柱 (H-100×100×6×8×3450)	2 =	2	本	2
ポケット式支柱 (H-100×100×6×8×3950)	9 + 5 =	14	本	14

ポケット式落石防護網 (1)

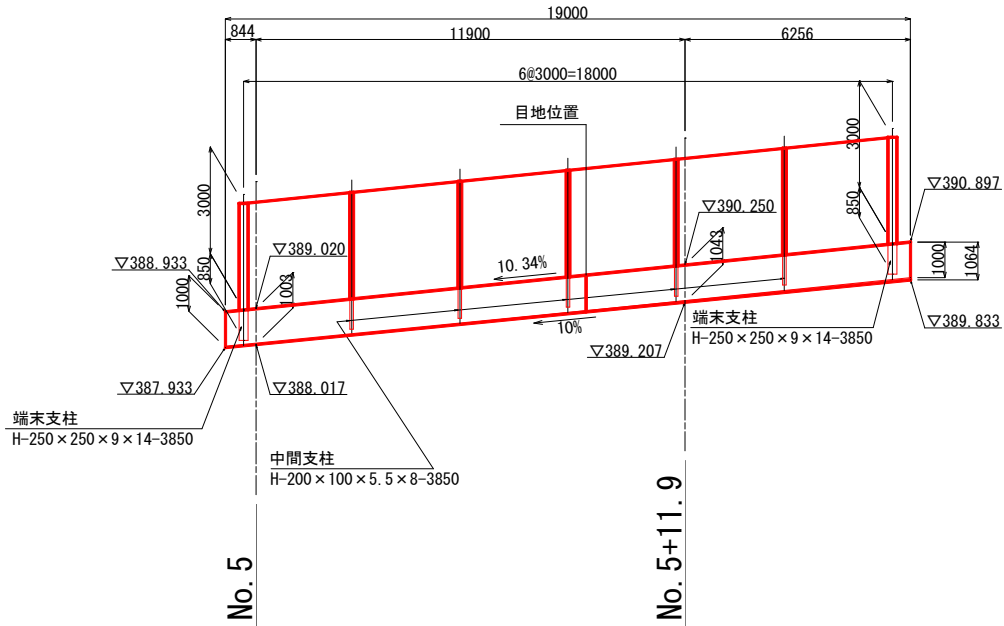
名 称	計 算	単 位	数 量
			(1式当り)
金網・ロープ	金網有効面積 A= $10.0 \times 12.0 + 15.0 \times 6.0 + 20.0 \times 27.0$ $+ 15.0 \times 36.0 + 10.0 \times 3.0$ = 1320.00	m2	1320
	設置面積 A = $10.2 \times (12.0 / 3 \times 3.3) + 15.2$ $\times (6.0 / 3 \times 3.3) + 20.2 \times (27.0 / 3 \times 3.3)$ $+ 15.2 \times (36.0 / 3 \times 3.3) + 10.2 \times 3.3$ = 1470.48	m2	1470
	金網 $\phi 3.2 \times 50 \times 50$ 亜鉛めっき		
	メインロープ 3×7 G/0 $\phi 14$ = 1188.00 L= 吊ロープ 10.0×29 = 290.00 縦ロープ $10.0 \times 4 + 15.0 \times 2 + 20.0$ $\times 10 + 15.0 \times 12 + 10.0$ = 460.00 横ロープ $47.0 + 89.0 + 104.0$ $+ 94.0 \times 2 + 10.0$ = 438.00	m	1188
	補助ロープ 3×7 G/0 $\phi 12$ L= (縦補助ロープ) $10.0 \times 4 + 15.0 \times 2$ $+ 20.0 \times 9 + 15.0 \times 12 + 10.0$ = 440.00	m	440
岩盤用支柱吊アンカー D22(M20)×1000	展開図より N= 29 = 29	本	29
岩盤用横ロープアンカー D25(M24)×1000	N= 10 = 10	本	10
土砂部用支柱吊アンカー $\phi 114.3 \times 4.5-1630$	展開図より N= 0 = 0	本	0
ポケット式支柱	岩部用		
H-100×100×6×8×2450	N= 19 = 19	本	19
H-100×100×6×8×2950	N= 1 = 1	本	1
H-100×100×6×8×3950	N= 9 = 9	本	9
	土砂部用		
H-100×100×6×8×2450	N= 0 = 0	本	0
岩盤用支柱アンカー D22(M20)×1000	ポケット式支柱アンカー N= 29 = 29	本	29
土砂部用支柱アンカー	ポケット式支柱アンカー N= 0 = 0	本	0
補助アンカー D22(M20)×1000	裾止めアンカー N= 2 = 2	本	2

ポケット式落石防護網 (2)

名 称	計 算	単 位	数 量
			(1式当り)
金網・ロープ	金網有効面積 $A = 10.0 \times 9.0 + 15.0 \times 27.0 + 10.0 \times 12.0 = 615.00$	m2	615
	設置面積 $A = 10.2 \times (9.0 / 3 \times 3.3) + 15.2$ $\times (27.0 / 3 \times 3.3) + 10.2 \times (12.0 / 3 \times 3.3) = 687.06$	m2	687
	金網 $\phi 3.2 \times 50 \times 50$ 垂鉛めっき		
	メインロープ 3×7 G/O $\phi 14$ 631.00 L= 吊ロープ $10.0 \times 17 = 170.00$ 縦ロープ $10.0 \times 3 + 15.0 \times 10 = 220.00$ $+ 10.0 \times 4$ 横ロープ $47.0 + 68.0 + 58.0 \times 2 = 241.00$ $+ 10.0$	m	631
	補助ロープ 3×7 G/O $\phi 12$ L= (縦補助ロープ) $10.0 \times 3 + 15.0 \times 9 = 205.00$ $+ 10.0 \times 4$	m	205
岩盤用支柱吊アンカー D22 (M20) $\times 1000$	展開図より $N = 17 = 17$		17
岩盤用横ロープアンカー D25 (M24) $\times 1000$	$N = 8 = 8$	本	8
土砂部用支柱吊アンカー $\phi 114.3 \times 4.5 - 1630$	展開図より $N = 0 = 0$	本	0
ポケット式支柱	岩部用		
H-100 $\times 100 \times 6 \times 8 \times 2450$	$N = 8 = 8$		8
H-100 $\times 100 \times 6 \times 8 \times 2950$	$N = 2 = 2$	本	2
H-100 $\times 100 \times 6 \times 8 \times 3450$	$N = 2 = 2$	本	2
H-100 $\times 100 \times 6 \times 8 \times 3950$	$N = 5 = 5$	本	5
	土砂部用		
H-100 $\times 100 \times 6 \times 8 \times 2450$	$N = 0 = 0$	本	0
岩盤用支柱アンカー D22 (M20) $\times 1000$	ポケット式支柱アンカー $N = 17 = 17$	本	17
土砂部用支柱アンカー	ポケット式支柱アンカー $N = 0 = 0$	本	0
補助アンカー D22 (M20) $\times 1000$	裾止めアンカー $N = 2 = 2$	本	2

落石防護柵工数量計算書

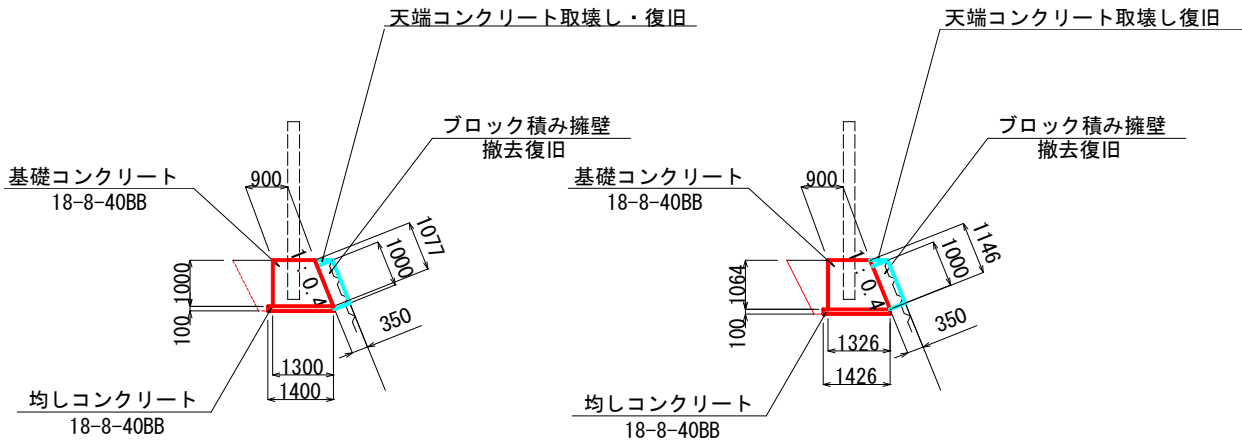
(1式当たり)



名 称	計 算 式	単 位	数 量
落石防護柵工	H=3.0m		
ロープ・金網 (3.2φ×50×50)	図より = 18.00	m	18
中間支柱 (200×100×5.5×8)	図より = 5	本	5
末端支柱 (250×250×9×14)	図より = 2	本	2

落石防護柵基礎工数量計算書1

(1式当たり)



名 称	計 算 式	単 位	数 量
落石防護柵基礎工 延長	18-8-40BB 図より = 19.00	m	19.0
基礎コンクリート (18-8-40BB)	$1/2 \times ((0.9+1.3) \times 1.0 \times 1/2 + (0.9+1.326) \times 1.064 \times 1/2) \times 19.0$ = 21.70	m ³	22
型枠工	$0.1 \times (19.0 \times 2 + 1.4 + 1.426) + 1/2 \times (1.0 + 1.064 + 1.077 + 1.146) \times 19.0 + 1/2 \times (1.3 + 0.9) \times 1.0 + 1/2 \times (1.326 + 0.9) \times 1.064$ = 47.09	m ²	47
目地工 エラストイトt=30mm	平均断面 $(1/2 \times (1.3 + 0.9) \times 1.0 + 1/2 \times (1.326 + 0.9) \times 1.064) / 2$ = 1.14	m ²	1
作業土工 掘削	別表より = 47.40	m ³	50
埋戻し 土砂・小規模	別表より = 18.20	m ³	20
土砂運搬 土砂	変化率 L=1.2 C=0.9 $47.4 - 18.2 \div 0.9$ = 27.18	m ³	30

落石防護柵基礎工数量計算書2

(1式当たり)

名 称	計 算 式	単 位	数 量
構造物撤去復旧工			
ブロック積撤去 SL=1.0m	図より $1.0 \times 21.0 \times 0.35$	= 21.00 m = 7.35 m3	21.0 7.4
天端Co取壊し	別表より	= 0.30 m3	0.3
ブロック積復旧 SL=1.0m	復旧数量 1×21.0	= 21.00 m = 21.00 m2	21.0 21.0
天端Co復旧 18-8-25BB	取壊し数量	= 0.30 m3	0.3
殻運搬 (コンクリート)	取壊し数量	= 7.65 m3	8.0

落石防護柵基礎工 作業土工 数量計算書

測点	測点間 距離	掘削			埋戻し			天端Co取壊し			摘 要
		断面積	両断面 平均	体積	断面積	両断面 平均	体積	断面積	両断面 平均	体積	
No.4+17.78	---	2.90			1.2			0.02			NO.5
No.4+18.78	1.000	2.90	2.90	2.90	1.2	1.20	1.20	0.02	0.02	0.00	NO.5
No.5	1.220	2.90	2.90	3.50	1.2	1.20	1.50	0.02	0.02	0.00	
No.5+11.9	11.900	2.00	2.45	29.20	0.7	0.95	11.3	0.02	0.02	0.20	
NO.5+17.29	5.390	2.00	2.00	10.80	0.7	0.70	3.80	0.02	0.02	0.10	NO.5+11.9
NO.5+18.29	1.000	0.00	1.00	1.00	0.0	0.35	0.40	0.00	0.01	0.00	NO.6
小計	20.510			47.40			18.20			0.30	m ³

ロープ伏(1)

1式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
施工面積		m ²	36.0	
ワイヤーロープ(主ロープ)	3×7 ZA/O 12φ	m	74.0	
ワイヤーロープ(補助ロープ)	3×7 ZA/O 12φ	m	108.0	
ワイヤーロープ合計		m	182.0	
金網(施工面積)	AZ φ2.6×50×50	m ²	0.0	
岩部用アンカーA	D22 (M20) × 1000	本	11	
岩部用アンカーA	D22 (M20) × 1500	本	3	
土中用アンカーA	耐力25kN以上	本	2	
岩部用アンカーB	D22 (M20) × 1000	本	5	
岩部用アンカーB	D22 (M20) × 1500	本	2	
土中用アンカーB	耐力25kN以上	本	1	
巻付グリップ	12φ-900	本	50	亜鉛アルミメッキ
巻付グリップ	12φ-1100	本	2	亜鉛アルミメッキ
交点グリップ	50×100	個	4	
交点アンカーグリップ	50×100	個	8	
クロスクリップ(大)	4.5t×75×60	個	4	
クロスクリップ(小)	3.2t×65×60	個	153	
結合コイル	AZ φ3.2×50×300	個	0	

ロープ伏(1)		1式 当り			
名 称	算 定 式		単位	数 量	
施工面積	図面より				
	A=	36.0	= m ²		36.0
ワイヤーロープ(主ロープ)	図面より				
3×7 ZA/0 12φ	L= 主ロープ	48.0	= m		74.0
	L= 主吊ロープ	26.0			
	L= 主ロープ計	74.0			
ワイヤーロープ(補助ロープ)	図面より				
3×7 ZA/0 12φ	L=	36.0/4.0×(2×6)	= m		108.0
ワイヤーロープ合計	L=	74.0 +108.0	= m		182.0
金網(施工面積)	図面より				
AZ φ2.6×50×50	N=	0.0	= m ²		0.0
岩部用アンカーA	アンカー総本数 16本				
D22(M20)×1000	アンカー総本数の70%を計上する。				
	N=	16 ×0.7	= 本		11
岩部用アンカーA	アンカー総本数の20%を計上する。				
D22(M20)×1500	N=	16 ×0.2	= 本		3
土中用アンカーA	アンカー総本数の10%を計上する。				
耐力25kN以上	N=	16 -11 -3	= 本		2
岩部用アンカーB	アンカー総本数 8本				
D22(M20)×1000	アンカー総本数の70%を計上する。				
	N=	8 ×0.7	= 本		5
岩部用アンカーB	アンカー総本数の20%を計上する。				
D22(M20)×1500	N=	8 ×0.2	= 本		2
土中用アンカーB	アンカー総本数の10%を計上する。				
耐力25kN以上	N=	8 -5 -2	= 本		1
巻付グリップ	図面より				
12φ-900	N=	50	= 本		50

ロープ伏(2)

1式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
施工面積		m ²	64.0	
ワイヤーロープ(主ロープ)	3×7 ZA/O 12φ	m	112.5	
ワイヤーロープ(補助ロープ)	3×7 ZA/O 12φ	m	192.0	
ワイヤーロープ合計		m	304.5	
金網(施工面積)	AZ φ2.6×50×50	m ²	0.0	
岩部用アンカーA	D22(M20)×1000	本	14	
岩部用アンカーA	D22(M20)×1500	本	4	
土中用アンカーA	耐力25kN以上	本	2	
岩部用アンカーB	D22(M20)×1000	本	10	
岩部用アンカーB	D22(M20)×1500	本	3	
土中用アンカーB	耐力25kN以上	本	2	
巻付グリップ	12φ-900	本	66	亜鉛アルミメッキ
巻付グリップ	12φ-1100	本	2	亜鉛アルミメッキ
交点グリップ	50×100	個	5	
交点アンカーグリップ	50×100	個	15	
クロスクリップ(大)	4.5t×75×60	個	4	
クロスクリップ(小)	3.2t×65×60	個	265	
結合コイル	AZ φ3.2×50×300	個	0	

ロープ伏(2)		1式 当り			
名 称	算 定 式		単位	数 量	
施工面積	図面より				
	A=	64.0	= m ²		64.0
ワイヤーロープ(主ロープ)	図面より				
3×7 ZA/0 12φ	L= 主ロープ	80.0	= m		112.5
	L= 主吊ロープ	32.5			
	L= 主ロープ計	112.5			
ワイヤーロープ(補助ロープ)	図面より				
3×7 ZA/0 12φ	L=	64.0/4.0×(2×6)	= m		192.0
ワイヤーロープ合計	L=	112.5 +192.0	= m		304.5
金網(施工面積)	図面より				
AZ φ2.6×50×50	N=	0.0	= m ²		0.0
岩部用アンカーA	アンカー総本数 20本				
D22(M20)×1000	アンカー総本数の70%を計上する。				
	N=	20 ×0.7	= 本		14
岩部用アンカーA	アンカー総本数の20%を計上する。				
D22(M20)×1500	N=	20 ×0.2	= 本		4
土中用アンカーA	アンカー総本数の10%を計上する。				
耐力25kN以上	N=	20 -14 -4	= 本		2
岩部用アンカーB	アンカー総本数 15本				
D22(M20)×1000	アンカー総本数の70%を計上する。				
	N=	15 ×0.7	= 本		10
岩部用アンカーB	アンカー総本数の20%を計上する。				
D22(M20)×1500	N=	15 ×0.2	= 本		3
土中用アンカーB	アンカー総本数の10%を計上する。				
耐力25kN以上	N=	15 -10 -3	= 本		2
巻付グリップ	図面より				
12φ-900	N=	66	= 本		66

ロープ伏(3)

1式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
施工面積		m ²	4.0	
ワイヤーロープ(主ロープ)	3×7 ZA/O 12φ	m	21.0	
ワイヤーロープ(補助ロープ)	3×7 ZA/O 12φ	m	12.0	
ワイヤーロープ合計		m	33.0	
金網(施工面積)	AZ φ2.6×50×50	m ²	0.0	
岩部用アンカーA	D22 (M20) × 1000	本	5	
岩部用アンカーA	D22 (M20) × 1500	本	2	
土中用アンカーA	耐力25kN以上	本	1	
岩部用アンカーB	D22 (M20) × 1000	本	0	
岩部用アンカーB	D22 (M20) × 1500	本	0	
土中用アンカーB	耐力25kN以上	本	0	
巻付グリップ	12φ-900	本	19	亜鉛アルミメッキ
巻付グリップ	12φ-1100	本	1	亜鉛アルミメッキ
交点グリップ	50×100	個	2	
交点アンカーグリップ	50×100	個	0	
クロスクリップ(大)	4.5t×75×60	個	4	
クロスクリップ(小)	3.2t×65×60	個	19	
結合コイル	AZ φ3.2×50×300	個	0	

ロープ伏(3)		1式 当り	
名 称	算 定 式	単 位	数 量
施工面積	図面より A= 4.0	= m ²	4.0
ワイヤーロープ(主ロープ)	図面より		
3×7 ZA/0 12φ	L= 主ロープ 8.0	= m	21.0
	L= 主吊ロープ 13.0		
	L= 主ロープ計 21.0		
ワイヤーロープ(補助ロープ)	図面より		
3×7 ZA/0 12φ	L= 16.0/4.0×(2×6)	= m	12.0
ワイヤーロープ合計	L= 21.0 +12.0	= m	33.0
金網(施工面積)	図面より		
AZ φ2.6×50×50	N= 0.0	= m ²	0.0
岩部用アンカーA	アンカー総本数 8本		
D22(M20)×1000	アンカー総本数の70%を計上する。		
	N= 8 ×0.7	= 本	5
岩部用アンカーA	アンカー総本数の20%を計上する。		
D22(M20)×1500	N= 8 ×0.2	= 本	2
土中用アンカーA	アンカー総本数の10%を計上する。		
耐力25kN以上	N= 8 -5 -2	= 本	1
岩部用アンカーB	アンカー総本数 0本		
D22(M20)×1000	アンカー総本数の70%を計上する。		
	N= 0 ×0.7	= 本	0
岩部用アンカーB	アンカー総本数の20%を計上する。		
D22(M20)×1500	N= 0 ×0.2	= 本	0
土中用アンカーB	アンカー総本数の10%を計上する。		
耐力25kN以上	N= 0 -0 -0	= 本	0
巻付グリップ	図面より		
12φ-900	N= 19	= 本	19

ロープ伏(4)

1式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
施工面積		m ²	4.0	
ワイヤーロープ(主ロープ)	3×7 ZA/O 12φ	m	21.0	
ワイヤーロープ(補助ロープ)	3×7 ZA/O 12φ	m	12.0	
ワイヤーロープ合計		m	33.0	
金網(施工面積)	AZ φ2.6×50×50	m ²	0.0	
岩部用アンカーA	D22 (M20) × 1000	本	5	
岩部用アンカーA	D22 (M20) × 1500	本	2	
土中用アンカーA	耐力25kN以上	本	1	
岩部用アンカーB	D22 (M20) × 1000	本	0	
岩部用アンカーB	D22 (M20) × 1500	本	0	
土中用アンカーB	耐力25kN以上	本	0	
巻付グリップ	12φ-900	本	19	亜鉛アルミメッキ
巻付グリップ	12φ-1100	本	1	亜鉛アルミメッキ
交点グリップ	50×100	個	2	
交点アンカーグリップ	50×100	個	0	
クロスクリップ(大)	4.5t×75×60	個	4	
クロスクリップ(小)	3.2t×65×60	個	19	
結合コイル	AZ φ3.2×50×300	個	0	

ロープ伏(4)		1式 当り			
名 称	算 定 式		単位	数 量	
施工面積	図面より				
	A=	4.0	= m ²		4.0
ワイヤーロープ(主ロープ)	図面より				
3×7 ZA/0 12φ	L= 主ロープ	8.0	= m		21.0
	L= 主吊ロープ	13.0			
	L= 主ロープ計	21.0			
ワイヤーロープ(補助ロープ)	図面より				
3×7 ZA/0 12φ	L=	16.0/4.0×(2×6)	= m		12.0
ワイヤーロープ合計	L=	21.0 +12.0	= m		33.0
金網(施工面積)	図面より				
AZ φ2.6×50×50	N=	0.0	= m ²		0.0
岩部用アンカーA	アンカー総本数 8本				
D22(M20)×1000	アンカー総本数の70%を計上する。				
	N=	8 ×0.7	= 本		5
岩部用アンカーA	アンカー総本数の20%を計上する。				
D22(M20)×1500	N=	8 ×0.2	= 本		2
土中用アンカーA	アンカー総本数の10%を計上する。				
耐力25kN以上	N=	8 -5 -2	= 本		1
岩部用アンカーB	アンカー総本数 0本				
D22(M20)×1000	アンカー総本数の70%を計上する。				
	N=	0 ×0.7	= 本		0
岩部用アンカーB	アンカー総本数の20%を計上する。				
D22(M20)×1500	N=	0 ×0.2	= 本		0
土中用アンカーB	アンカー総本数の10%を計上する。				
耐力25kN以上	N=	0 -0 -0	= 本		0
巻付グリップ	図面より				
12φ-900	N=	19	= 本		19

ロープ伏工重量集計表

種別	規格	単位	数				重量	重量	摘要
			ロープ伏(1)	ロープ伏(2)	ロープ伏(3)	ロープ伏(4)			
施工面積		m ²	36.0	64.0	4.0	4.0	108.0		
ワイヤーロープ	3×7ZA/0 φ12	m	182.0	304.5	33.0	33.0	552.5	0.5 276.3	
金網	AZ φ2.6×50×50	m ²	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8 0.0 施工面積×1.1	
岩用アンカー(A)	D22(M20)×1000	本	11.0	14.0	5.0	5.0	35.0	5.7 199.5	
岩用アンカー(A)	D22(M20)×1500	本	3.0	4.0	2.0	2.0	11.0	7.9 86.9	
土砂用アンカー(A)	耐力25KN以上	本	2.0	2.0	1.0	1.0	6.0	23.6 141.6	
岩用アンカー(B)	D22(M20)×1000	本	5.0	10.0	0.0	0.0	15.0	4.6 69.0	
岩用アンカー(B)	D22(M20)×1500	本	2.0	3.0	0.0	0.0	5.0	6.9 34.5	
土砂用アンカー(B)	耐力25KN以上	本	1.0	2.0	0.0	0.0	3.0	21.9 65.7	
巻付グリッパ	φ12×900	個	50.0	66.0	19.0	19.0	154.0	0.6 92.4 垂鉛アルミメッキ	
巻付グリッパ	φ12×1100(土中用)	個	2.0	2.0	1.0	1.0	6.0	0.7 4.2 垂鉛アルミメッキ	
交点グリッパ	50×100	個	4.0	5.0	2.0	2.0	13.0	1.0 13.0	
交点アンカーグリッパ	50×100	個	8.0	15.0	0.0	0.0	23.0	2.3 52.9	
クロスクリップ(大)	4.5t×75×60	個	4.0	4.0	4.0	4.0	16.0	0.4 6.4	
クロスクリップ(小)	3.2t×65×60	個	153.0	265.0	19.0	19.0	456.0	0.2 91.2	
結合コイル	AZ φ3.2×50×300	個	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1 0.0	
ワイヤーロープ	3×7ZA/0 φ14	m					0.0	0.7 0.0	
岩用アンカー(A)	D25(M24)×1000	本					0.0	7.1 0.0	
岩用アンカー(A)	D25(M24)×1500	本					0.0	9.9 0.0	
土砂用アンカー(A)	耐力35KN以上	本					0.0	32.4 0.0	
岩用アンカー(B)	D25(M24)×1000	本					0.0	6.1 0.0	
岩用アンカー(B)	D25(M24)×1500	本					0.0	8.9 0.0	
土砂用アンカー(B)	耐力35KN以上	本					0.0	30.7 0.0	
巻付グリッパ	φ14×900	個					0.0	1.0 0.0 垂鉛アルミメッキ	
巻付グリッパ	φ14×1150(土中用)	個					0.0	1.2 0.0 垂鉛アルミメッキ	
交点グリッパ	65×130	個					0.0	2.3 0.0	
交点アンカーグリッパ	65×130	個					0.0	1.9 0.0	
							合計	1133.6	

